

第5部 資料編

企業評価基準 【評価シート】

経済同友会版
企業評価基準【評価シート】
総合的な企業価値の増進に向けた「現状評価」と「目標設定」のための実践ツール

第1版
2003年3月

社団法人 経済同友会

はじめに 評価実施にあたってご留意いただきたいこと

(1) あくまでも自主的な取り組みです。

本評価シートは、経済同友会がその提出の「義務」を課すものではありません。むしろ、この作業に積極的にご参加いただき、評価を「自主的」に実施していただくことによって、企業の具体的な取り組みを促進し、その信頼構築と競争力強化の一助となるツールに発展していくことをめざしています。

(2) 現状評価はあくまでも「主観的」に行ってください。

現状評価はあくまでも「主観的」なもので結構です。形式的な模範回答よりも、積極的にアピールしたい点について具体的記述があることが望まれます。

(3) 「すべての項目に取り組みなければ評価されない」わけではありません。

本評価シートは、非常に多くの分野を網羅しています。しかし、すべての項目に取り組みなければ評価されないというわけではありません。業種や規模によっては該当しない項目もあり、また各企業の理念に基づき、その取り組みは多様であるからです。

(4) 回答内容は最終的に経営者ご自身によってご確認下さい。

本評価シートでは、担当部署しか把握していないような詳細な数字を記入する欄もあります。しかし、少なくとも最終的な回答内容については、経営者ご自身が目を通され、自らコミットできる内容であることをご確認下さい。

(5) 個別回答データを許可なく公表することはありません。

本評価シートの本来の趣旨から言えば、回答内容（現状評価と目標）を企業が社会に対するコミットメントとして自主的に開示することが理想の姿です。しかし、評価の方法論が十分確立していない現段階では、まずデータの収集・分析を主な目的とし、許可なく個別回答内容を公表することはありません。公表を考えているのは、集計・分析結果とベストプラクティスと思われる事例（ただし許可を得た場合のみ）に限定します。

(6) 個別データの管理は徹底して行います。

事務局内部における個別データの閲覧も担当者限定し、その保管も厳重に行います。外部に集計を委託する場合でも、回答者が特定できないような措置をとり、外部にデータが流出しないよう配慮します。

(7) 積極的なディスクロージャーが時代の流れであることはご理解下さい。

しかしながら、少なくとも積極的なディスクロージャーが時代の流れであることはご理解下さい。具体的数値を記入する設問の多くは、『GRIガイドライン』（持続可能性報告書作成のためのガイドライン）や『環境報告書ガイドライン』（環境省）などにおいて、企業にとってもメリットがあるとして、開示することが望ましいと提唱されています。

以上を十分ご留意いただいた上で、次頁以降の説明をお読み下さい。

本評価基準の特徴

経済同友会は、『21世紀宣言』（2000年12月発表）において、「市場の進化」というコンセプトを提唱し、「経済性」のみならず「社会性」「人間性」を含めた総合的な企業価値を評価するような市場の構築と、それに向けた企業の積極的なイニシアティブの発揮を求めました。

この「企業評価基準」は、経営者の立場から「市場の進化」のコンセプトを具体化するための新しい基準を提唱することを試みたものであり、以下のような特徴を持っています。

(1) 経営者による自己評価のためのチェックリスト

経営者自身が社会の価値観（企業を評価する視点）の多様性やその変化に気づきながら、自社の取り組みの現状を評価するためのチェックリストです。

(2) 目標をコミットメントとして示すためのツール

現状評価に加え、「成果」については目標を自主的に設定し、その達成への努力をコミットすることにより、具体的取り組みを促進するためのツールです。

(3) ベストプラクティスを発掘・評価するためのツール

多くの第三者評価のように、特定の価値判断に基づいて一方的かつ画一的に評価するものではありません。各分野での企業行動に一定の枠をはめるものではなく、むしろ、各企業が多様な取り組みを行う中で、ベストプラクティスを発掘し、より評価していくためのツールです。したがって、各質問項目のウエイト付けや総合点によるランキングは行っていません。

(4) 「リスク・マネジメント」と「ビジネス・ケース」に資する観点からつくられた設問項目

設問項目は、2つの観点からつくられています。第1は、リスク・マネジメントです。将来のリスクにつながるおそれのある問題を事前に把握し、迅速にその改善を図るとともに、社会の価値観と社内の価値観の間に重大な乖離が生じていないかを点検するものです。

第2は、ビジネス・ケースです。社会の価値観やニーズの変化をとらえ、それをいち早く価値創造や新しい市場の創造に結び付けていくことによって、企業の競争力強化と持続的発展につなげるものです。

(5) 「形式」の有無よりも「機能」の有無を問う設問項目

ある目的を達成するために有効な仕組みの「形式」は、各企業の理念や特性に応じて多様であってしるべきです。したがって、仕組みに関する設問では、ある特定の「形式」の有無（例：社外取締役はいるか）を問うのではなく、その「機能」（例：社外の視点を経営にとり入れる）の有無を問い、それが効果をあげているのであれば、具体的にどのような「形式」があるのかを回答していただく方法をとっています。

(6) 常に「進化」していくツール

今後の展開としては、具体的な回答データを収集・分析し、ベストプラクティスの抽出・評価や、業種や規模別の平均像の分析を行うとともに、各方面からのご意見や社会ニーズの変化を反映させ、評価項目の見直しや方法論の精緻化を進めていく予定です。

評価シートの記入方法

(1) 評価の実施対象

この評価シートは、経営者を対象にその企業の現状を評価し、目標をコミットしていただくものです。しかし、担当部署しか把握していないような詳細な数字を記入する欄もかなりありますので、各担当部署に作業を依頼していただいで結構です。ただし、最終的な回答内容については、経営者ご自身が目を通され、自らコミットできる内容であることをご確認下さい。また、「II：コーポレート・ガバナンス（CG）」については、できるだけ経営者ご本人が記入されることを推奨します。

(2) 評価基準の構成

評価基準は、大きく合計5分野（市場、環境、人間、社会、コーポレート・ガバナンス）にわたる110項目から構成されており、下記のとおり分類されています。

I：企業の社会的責任（CSR）			(83)
1. 市場	1-a. 仕組み	（現状評価）	15
	1-b. 成果	（現状評価と目標設定）	9
2. 環境	2-a. 仕組み	（現状評価）	11
	2-b. 成果	（現状評価と目標設定）	10
3. 人間	3-a. 仕組み	（現状評価）	11
	3-b. 成果	（現状評価と目標設定）	11
4. 社会	4-a. 仕組み	（現状評価）	10
	4-b. 成果	（現状評価と目標設定）	6
II：コーポレート・ガバナンス（CG）			(27)
1. 理念とリーダーシップ		（現状評価）	6
2. マネジメント体制		（現状評価）	9
3. コンプライアンス		（現状評価）	8
4. ディスクロージャーとコミュニケーション		（現状評価）	4

(3) 現状評価

「I：企業の社会的責任（CSR）」の「仕組み」、および「II：コーポレート・ガバナンス（CG）」については、現状評価を行います。概ね以下のような3段階評価になっていますので、最もふさわしい選択肢を1つ選択して下さい。

また、「2」を選択した場合には、その具体的内容を簡潔にご記入下さい（企業秘密に属する場合には結構です）。これは、より優れた取り組みを評価することを目的にしたものです。回答データの収集・分析の過程で、（評価委員会の設置等によって）特に優れていると思われる独自の取り組みを抽出し、加点評価していくことも想定しています。

(例)「仕組み」

N：該当しない	N
0：取り組んでいない	0
1：取り組んでいる	1
2：取り組んでおり、十分な成果をあげていると考えている (2の場合、具体的取り組み・方法を簡潔に記入して下さい。)	2
[]

(4) 目標設定

「I：企業の社会的責任（CSR）」の「成果」については、現状評価とともに目標設定を行います。具体的数値が公表ないし把握されている最新の期末を「直近期」とします。原則として、そこから概ね過去3年間の傾向を以下のような3段階評価で行うことになっていますので、最もふさわしい選択肢を1つ選択し、直近期の具体的数値をご記入下さい。

また、目標設定については、原則として「直近期」から概ね3年後の目標値を記入して下さい。これは経営者のコミットメントを示すものですので、あくまでも3年後を目安に達成することを前提として、実現可能と判断（経営努力）される内容をご記入下さい。

なお、現状および目標とも、具体的数値の記入が難しい場合には、空欄で結構です。

(例)「成果」

(過去3年間の傾向) N：把握していない	0
-1：下降傾向 0：横ばい 1：上昇傾向	-1
(具体的数値：現状と目標)	0
直近期 _____ % 3年後目標 _____ %	1

(5) 自由記述欄の記入方法

また、各分野の末尾には、それぞれ自由記述欄を設けています。それぞれの分野において、評価項目の有無にかかわらず、評価を受けたいと思う独自の「仕組み」や「成果」などがありましたら記述して下さい。これについても、回答データの収集・分析の過程で、(評価委員会の設置等によって)特に優れていると思われる独自の取り組みを抽出し、加点点評価していくことも想定しています。

また、評価対象にはなりません。特筆すべき独自の「目標」やめざす「理想像」等をご記入いただく欄も設けてあります。

プロフィール

まず、下欄に必要事項をご記入下さい。

【ご記入者】

(経営者)

ご芳名	
御社名	
お役職	

(担当者ご連絡先)

ご芳名			
お役職			
ご連絡先	TEL:	FAX:	E-mail:

記入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

【貴社のプロフィール】

(該当する番号に 印をお付け下さい)

問1 主たる業種

- | | | | |
|-------------|-----------|------------|-------------|
| 1. 農林水産 | 2. 鉱業 | 3. 建設 | 4. 食品 |
| 5. 繊維・衣服 | 6. パルプ・紙 | 7. 化学 | 8. 医薬品 |
| 9. 石油・石炭 | 10. ゴム・皮革 | 11. ガラス・土石 | 12. 鉄鋼 |
| 13. 非鉄金属 | 14. 金属製品 | 15. 機械 | 16. 電気機器 |
| 17. 輸送用機器 | 18. 精密機械 | 19. その他製造 | 20. 卸売業 |
| 21. 小売業 | 22. 銀行 | 23. その他金融 | 24. 証券・商品先物 |
| 25. 保険 | 26. 不動産 | 27. 輸送 | 28. 倉庫 |
| 29. 通信 | 30. 電気・ガス | 31. マスコミ | 32. 情報サービス |
| 33. その他サービス | | 34. その他() | |

問2 創立年(新設合併の場合、解散会社のうち最も古い会社の創立年をお答え下さい。)

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 1945年以前 | 2. 1946～69年 | 3. 1970～79年 | 4. 1980～89年 |
| 5. 1990年以降 | | | |

問3 資本金

- | | | |
|----------|---------------|----------|
| 1. 1億円未満 | 2. 1億円以上5億円未満 | 3. 5億円以上 |
|----------|---------------|----------|

問4 株式上場

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 上場している(国内および海外) | 2. 上場している(国内のみ) |
| 3. 上場している(海外のみ) | 4. 上場していない |

問5 従業員(正社員、契約社員、パート、アルバイト等を含む)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 300人未満 | 2. 300人以上1千人未満 |
| 3. 1千人以上5千人未満 | 4. 5千人以上 |

問6 直近売上高(単独)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 50億円未満 | 2. 50億円以上100億円未満 |
| 3. 100億円以上500億円未満 | 4. 500億円以上 |

問7 外国人持株比率

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 10%未満 | 2. 10%以上20%未満 |
| 3. 20%以上30%未満 | 4. 30%以上40%未満 |
| 5. 40%以上50%未満 | 6. 50%以上 |

問8 海外売上比率(連結)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 10%未満 | 2. 10%以上30%未満 |
| 3. 30%以上50%未満 | 4. 50%以上 |

I：企業の社会的責任（CSR）

1-a. 市場（仕組み）

持続的な価値創造と新市場創造への取り組み

- 1) 【コアコンピタンス経営】 コアコンピタンス（他社にはない独自の能力・強み）を活かす戦略を展開し、自社が優位に立つ新しい市場を創造する取り組みをしていますか。
- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な成果をあげていると考えている
（2の場合、具体的取り組み・方法を簡潔に記入して下さい。） | 2 |
- []
- 2) 【マーケティング】 新製品・サービスの企画・開発や新規事業の立ち上げのために、顧客や市場のニーズを把握していますか。
- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：把握していない | 0 |
| 1：既存の顧客や市場のニーズについて把握している | 1 |
| 2：さらに、潜在的な顧客や市場のニーズについても把握している
（2の場合、具体的方法を簡潔に記入して下さい。） | 2 |
- []
- 3) 【知の連携】 新製品・サービスの企画・開発や新規事業の立ち上げのために、広く社内外の「知」を集め、有機的に連携させる取り組みをしていますか。
- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な成果をあげていると考えている
（2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。） | 2 |
- []
- 4) 【知的財産戦略】 知的財産の創造・保護・活用について、基本方針や戦略を策定していますか。
- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：策定していない | 0 |
| 1：策定している | 1 |
| 2：策定しており、創造・管理・活用を戦略的に実践していると考えている
（2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。） | 2 |
- []
- 5) 【ブランド・マネジメント】 貴社及びその製品・サービスのブランド・マネジメントに関し、基本方針や戦略を策定していますか。
- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：策定していない | 0 |
| 1：策定している | 1 |
| 2：策定しており、ブランド価値の向上に十分結び付いていると考えている
（2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。） | 2 |
- []

顧客に対する価値の提供

- 6) 【顧客満足度】 顧客満足度を調査し、その向上を図っていますか。
- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：調査していない | 0 |
| 1：調査している | 1 |
| 2：調査しており、その向上に結び付いていると考えている
(2の場合、具体的方法を簡潔に記入して下さい。) | 2 |
| [] | |
- 7) 【顧客対応】 顧客から寄せられた要望・苦情・意見が、社長（ないし担当役員）に届く仕組みがありますか。
- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：顧客の要望・苦情・意見を聴く仕組みはない | 0 |
| 1：聴く仕組みはあるが、その報告は社長（ないし担当役員）に届いていない | 1 |
| 2：聴く仕組みがあり、その報告は社長（ないし担当役員）に届いている
(2の場合、報告の具体的方法を簡潔に記入して下さい。) | 2 |
| [] | |
- 8) 【事故・トラブル対応】 製品・サービスに欠陥等の事故・トラブルが発生した際、迅速かつ適切な対応をとることができるように、あらかじめ基本方針や対応マニュアルを作成していますか。
- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：作成していない | 0 |
| 1：作成している | 1 |
| 2：作成しており、その体制も十分であると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
| [] | |
- 9) 【顧客情報保護】 顧客の個人情報を保護するため、基本方針やマニュアルを作成していますか。
- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：作成していない | 0 |
| 1：作成している | 1 |
| 2：作成しており、その体制も十分であると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
| [] | |

株主に対する価値の提供

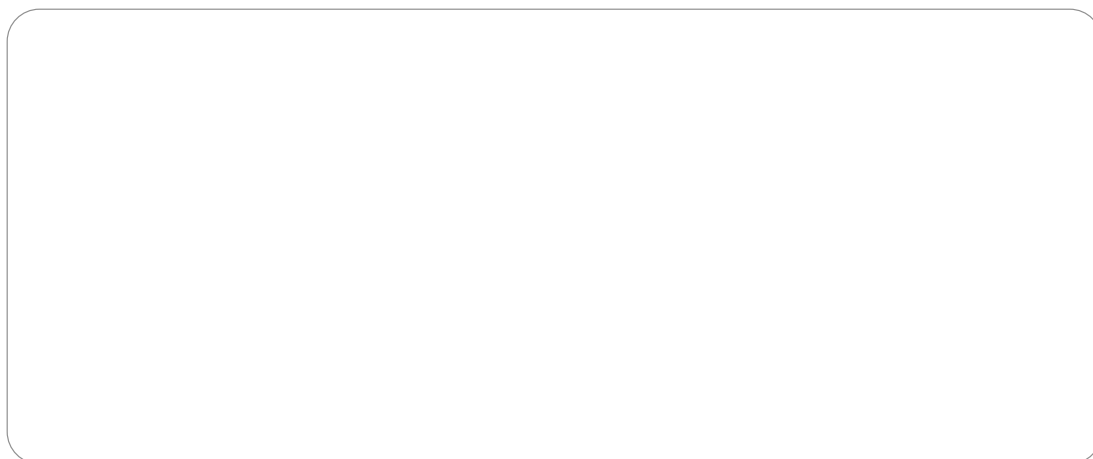
- 10) 【IR（専任部署等）】 IRの専任部署（ないし担当者）を設置するなど、株主・投資家から正しく理解・評価されるための取り組みをしていますか。
- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、株主・投資家から正しく理解・評価されていると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
| [] | |

- 11)【IR (フィードバック)】 IRの過程で把握した株主・投資家の要望や意見などが取締役会に報告され、フィードバックされていますか。
- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：報告されていない | 0 |
| 1：報告されている | 1 |
| 2：報告されており、十分フィードバックされていると考えている
(2の場合、具体的方法を簡潔に記入して下さい。) | 2 |
| [] | |
- 12)【株主総会】 株主総会の開催に際し、株主重視のための取り組み(開催日の集中日回避、議事以外に株主の意見を聴く時間等)をしていますか。
- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な成果をあげていると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
| [] | |
- 自由・公正・透明な取引・競争
- 13)【購買・取引方針】 取引先(仕入・購買先、委託先等)との公正取引に関する購買・取引方針を定め、公表していますか。
- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：定めていない | 0 |
| 1：定めているが、公表していない | 1 |
| 2：定めており、公表している
(2の場合、特筆すべき内容があれば簡潔に記入して下さい。) | 2 |
| [] | |
- 14)【CSR調達基準】 価格や品質以外に、「企業の社会的責任(CSR)」を考慮した調達基準を定め、公表していますか。
- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：定めていない | 0 |
| 1：定めているが、公表していない | 1 |
| 2：定めており、公表している
(2の場合、特筆すべき内容があれば簡潔に記入して下さい。) | 2 |
| [] | |
- 15)【公正取引・競争の徹底】 独占禁止法や不正競争防止法等に定められた諸規則を遵守するためのマニュアルを定め、従業員に徹底していますか。
- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：定めていない | 0 |
| 1：定めている | 1 |
| 2：定めており、従業員にも十分徹底されていると考えている
(2の場合、具体的な徹底方法を簡潔に記入して下さい。) | 2 |
| [] | |

その他（自由）

その他、特筆すべき「仕組み」がありましたら、下欄にご記入下さい。

【仕組み】



1-b 市場（成果）

持続的な価値創造

1) 【収益性】 収益性の推移は、どのような傾向にありますか。

[株主資本利益率（ROE）：％] N

その他の指標を用いている場合は、その旨ご記入下さい。 -1

（過去3年間の傾向） N：把握していない 0

-1：下降傾向 0：横ばい 1：上昇傾向 1

（具体的数値：現状と目標）

直近期 _____ % 3年後目標 _____ %

2) 【生産性】 生産性の推移は、どのような傾向にありますか。

[一人あたり付加価値額：円] N

= 企業全体の付加価値額（営業利益 + 人件費 + 減価償却額）÷ 従業員数 -1

その他の指標を用いている場合は、その旨ご記入下さい。 -1

（過去3年間の傾向） N：把握していない 0

-1：下降傾向 0：横ばい 1：上昇傾向 1

（具体的数値：現状と目標）

直近期 _____ 円 3年後目標 _____ 円

3) 【特許取得件数】 特許取得件数の推移は、どのような傾向にありますか。

[特許取得件数（年間）：件] N

（過去3年間の傾向） N：該当しない / 把握していない -1

-1：減少傾向 0：横ばい 1：増加傾向 0

（具体的数値：現状と目標） 1

直近期 _____ 件 3年後目標 _____ 件

顧客に対する価値の提供

4) 【顧客満足度】 顧客満足度の推移は、どのような傾向にありますか。

[貴社が用いる指標] N

（過去3年間の傾向） N：該当しない / 把握していない -1

-1：下降傾向 0：横ばい 1：上昇傾向 0

1

株主に対する価値の提供

5) 【1株あたり配当】 1株あたりの配当の推移は、どのような傾向にありますか。

[1株あたり（1株50円換算）配当（年間）：円] N

（過去3年間の傾向） N：該当しない -1

-1：減少傾向 0：横ばい 1：増加傾向 0

（具体的数値：現状と目標） 1

直近期 _____ 円 3年後目標 _____ 円

6) 【株式時価総額】 株式時価総額の推移は、どのような傾向にありますか。

[株式時価総額：円] N

(過去3年間の傾向) N：該当しない -1

-1：減少傾向 0：横ばい 1：増加傾向 0

(具体的数値：現状と目標) 1

直近期 _____ 円 3年後目標 _____ 円

7) 【業績予想・実績の乖離率】 業績（経常利益）の予想と実績の乖離（上方/下方修正共）の程度の推移は、どのような傾向にありますか。

[業績（経常利益）予想（前々期末時）と実績（前期）の乖離率：%] N

= 乖離額（予想と実績の差の絶対値）÷ 実績額 × 100 -1

(乖離率が小さいほど、信頼性の点で評価されます。) 0

(過去3年間の傾向) N：該当しない 1

-1：拡大傾向 0：横ばい 1：減少傾向

(具体的数値：現状と目標)

直近期 _____ % 3年後目標 _____ %

信頼の構築

8) 【消費者関連法令違反件数】 過去3年間、消費者に関連する法令に違反し、消費者の利益を損ねるケースはありましたか。

[過去3年間の違反件数：件] N

(過去3年間の件数) N：該当しない -1

-1：あった 0：ない 0

(具体的数値：現状)

過去3年間 _____ 件

9) 【公正取引・競争関連法令違反件数】 過去3年間、公正取引・競争に関連する法令に違反しましたか。

[過去3年間の違反件数：件] N

(過去3年間の件数) N：該当しない -1

-1：あった 0：ない 0

(具体的数値：現状)

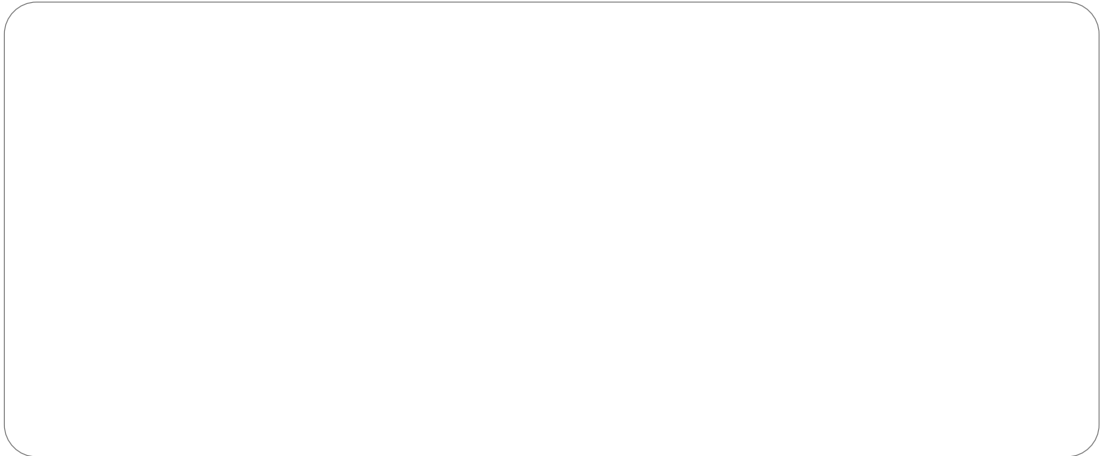
過去3年間 _____ 件

企業評価基準（評価シート）

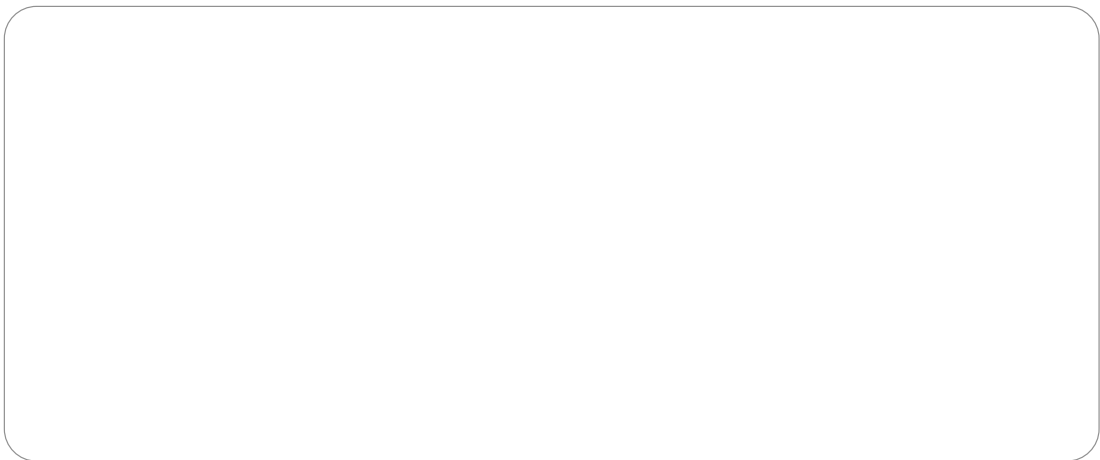
その他（自由記述）

その他、特筆すべき「成果」や「目標」「理想像」がありましたら、下欄にご記入下さい。

【成果】



【目標や理想像】



2-a . 環境（仕組み）

環境経営を推進するマネジメント体制の確立

- 1) 【環境保全に関する経営方針】 環境保全に関する経営方針を定め、公表していますか。
- | | |
|------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：定めていない | 0 |
| 1：定めているが、公表していない | 1 |
| 2：定めており、公表している | 2 |
- （ 2の場合、特筆すべき内容があれば簡潔に記入して下さい。）
- []
- 2) 【環境保全に関する従業員教育】 環境保全について、従業員の意識を高めるための取り組みをしていますか。
- | | |
|-----------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な成果をあげていると考えている | 2 |
- （ 2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。）
- []
- 3) 【外部認証の取得】 ISO14001等の外部認証の取得を奨励していますか。
- | | |
|----------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：奨励していない | 0 |
| 1：奨励している | 1 |
| 2：奨励しており、十分な成果をあげていると考えている | 2 |
- 4) 【環境会計】 環境会計システムを導入していますか。
- | | |
|-------------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：導入していない | 0 |
| 1：導入している | 1 |
| 2：導入しており、経営の意思決定に活かしていると考えている | 2 |

環境負荷軽減の取り組み

- 5) 【省資源・リサイクル】 オフィスや事業所において、省資源・リサイクルの取り組みをしていますか。
- | | |
|-----------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な成果をあげていると考えている | 2 |
- （ 2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。）
- []
- 6) 【省エネルギー】 オフィスや事業所において、省エネルギーの取り組みをしていますか。
- | | |
|-----------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：特に取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な成果をあげていると考えている | 2 |
- （ 2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。）
- []

7) 【製品・サービスの環境アセスメント】 新製品・サービスの企画・開発において、環境への影響の面からアセスメントを実施していますか。

N：該当しない	N
0：実施していない	0
1：製品・サービスのライフサイクル全般ではないが、実施している	1
2：製品・サービスのライフサイクル全般について、実施している (2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。)	2
[]	

8) 【グリーン購入・調達】 自社あるいは外部の基準に基づき、グリーン購入・調達を実施していますか。

N：該当しない	N
0：実施していない	0
1：実施している	1
2：実施しており、十分な成果をあげていると考えている (2の場合、具体的基準の概要を簡潔に記入して下さい。)	2
[]	

ディスクロージャーとコミュニケーション

9) 【環境報告書】 環境報告書を作成し、公表していますか。

N：該当しない	N
0：作成していない	0
1：作成し、公表している	1
2：作成し、公表しており、社会とのコミュニケーションや環境保全の取り組みの推進に十分役立っていると考えている	2

10) 【環境報告書の第三者レビュー】 環境報告書の内容は、第三者レビュー（監査、検証、意見表明）を受けていますか。

N：該当しない	N
0：受けていない	0
1：受けている	1
2：受けており、報告書の内容とその信頼性向上に十分役立っていると考えている (2の場合、具体的方法を簡潔に記入して下さい。)	2
[]	

11) 【環境に関する社会貢献活動】 環境保全に関し、貴社の事業活動とは直接には関係のない分野での活動を実践あるいは支援していますか。

N：該当しない	N
0：していない	0
1：している	1
2：しており、十分なものであると考えている (2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。)	2
[]	

その他（自由）

その他、特筆すべき「仕組み」がありましたら、下欄にご記入下さい。

【仕組み】



2-b . 環境 (成果)

環境経営を推進するマネジメント体制の確立

- 1) 【外部認証の取得】 これまでに、ISO14001等の外部認証を取得した事業所はありますか。
 [全事業所に占める取得事業所の割合 : %] N
 (過去3年間の傾向) N : 該当しない -1
 -1 : 減少傾向 0 : 横ばい 1 : 増加傾向 0
 (具体的数値 : 現状と目標) 1
 直近期 _____ % 3年後目標 _____ %

環境負荷軽減の取り組み 各指標の定義や算出方法は、環境省『環境報告書ガイドライン』を参照して下さい。

- 2) 【総物質投入量】 事業活動に伴う総物質投入量 (総量) の推移は、どのような傾向にありますか。
 [総物質投入量 (年間) : トン / 増減率 : %] N
 (過去3年間の傾向) N : 把握していない -1
 -1 : 増加傾向 0 : 横ばい 1 : 減少傾向 0
 (具体的数値 : 現状と目標) 1
 直近期 _____ トン 3年後目標 _____ %増・減

- 3) 【総エネルギー消費量】 事業活動に伴う総エネルギー消費量 (総量) の推移は、どのような傾向にありますか。
 [総エネルギー消費量 (年間) : ジュール / 増減率 : %] N
 (過去3年間の傾向) N : 把握していない -1
 -1 : 増加傾向 0 : 横ばい 1 : 減少傾向 0
 (具体的数値 : 現状と目標) 1
 直近期 _____ ジュール 3年後目標 _____ %増・減

- 4) 【水使用量】 事業活動に伴う水使用量 (総量) の推移は、どのような傾向にありますか。
 [水使用量 (年間) : トン / 増減率 : %] N
 (過去3年間の傾向) N : 把握していない -1
 -1 : 増加傾向 0 : 横ばい 1 : 減少傾向 0
 (具体的数値 : 現状と目標) 1
 直近期 _____ トン 3年後目標 _____ %増・減

- 5) 【温室効果ガス排出量】 事業活動に伴う温室効果ガス (CO₂、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六ふっ化硫黄) 排出量の推移は、どのような傾向にありますか。
 [温室効果ガス排出量 (年間) : トン = CO₂換算 / 増減率 : %] N
 (過去3年間の傾向) N : 把握していない -1
 -1 : 増加傾向 0 : 横ばい 1 : 減少傾向 0
 (具体的数値 : 現状と目標) 1
 直近期 _____ トン 3年後目標 _____ %増・減

- 6) 【廃棄物等の総排出量】 事業活動に伴う廃棄物等の総排出量（総量）の推移は、どのような傾向にありますか。
- [廃棄物等の総排出量（年間）：トン / 増減率：%] N
- （過去3年間の傾向） N：把握していない -1
- 1：増加傾向 0：横ばい 1：減少傾向 0
- （具体的数値：現状と目標） 1
- 直近期 _____ トン 3年後目標 _____ %増・減
-
- 7) 【再生利用される循環資源の比率】 事業活動に伴う廃棄物等の総排出量のうち、再生利用（リサイクル）される循環資源の比率の推移は、どのような傾向にありますか。
- [再生利用される循環資源の比率：%] N
- = 廃棄物等の総排出量のうち再生利用される循環資源の量 ÷ 廃棄物等の総排出量 × 100 -1
- （過去3年間の傾向） N：把握していない 0
- 1：減少傾向 0：横ばい 1：増加傾向 1
- （具体的数値：現状と目標）
- 直近期 _____ % 3年後目標 _____ %
-
- 8) 【グリーン購入・調達比率】 自社ないし外部の基準に基づくグリーン購入・調達比率の推移は、どのような傾向にありますか。
- [グリーン購入・調達比率：%] N
- （過去3年間の傾向） N：実施していない -1
- 1：減少傾向 0：横ばい 1：増加傾向 0
- （具体的数値：現状と目標） 1
- 直近期 _____ % 3年後目標 _____ %
-
- 9) 【環境物品等生産・販売比率】 環境負荷低減に資する製品・サービス等（グリーン購入法第2条第1項に定める「環境物品等」）の生産・販売比率の推移は、どのような傾向にありますか。
- [環境物品等生産・販売比率（金額ベース）：%] N
- （過去3年間の傾向） N：該当しない -1
- 1：減少傾向 0：横ばい 1：増加傾向 0
- （具体的数値：現状と目標） 1
- 直近期 _____ % 3年後目標 _____ %

信頼の構築

- 10) 【環境関連法令違反件数】 過去3年間、環境に関連する法令に違反しましたか。
- [過去3年間の違反件数：件] N
- （過去3年間の件数） N：該当しない -1
- 1：あった 0：ない 0
- （具体的数値：現状）
- 過去3年間 _____ 件

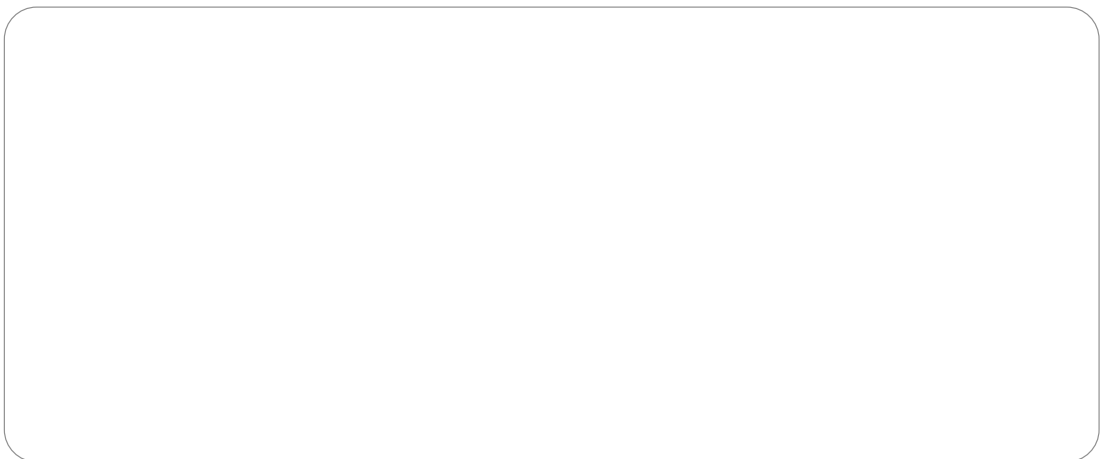
その他（自由記述）

その他、特筆すべき「成果」や「目標」「理想像」がありましたら、下欄にご記入下さい。

【成果】



【目標や理想像】



3-a . 人間（仕組み）

優れた人材の登用と活用

- 1) 【機会均等】 従業員の採用・昇進・配置等において、性別・年齢・学歴・国籍・雇用形態にかかわらず、優れた人材を適材適所で活用する取り組みをしていますか。
- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な内容であると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
| [] | |
- 2) 【社内公募・FA制度等】 従業員が自らのキャリアを主体的に選択し、その能力や意欲を活かせるような取り組み（社内公募、FA制度等）をしていますか。
- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な内容であると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
| [] | |
- 3) 【能力・実績評価】 従業員の能力や実績を公正に評価し、その処遇や待遇に反映させるような取り組みをしていますか。
- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な内容であると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
| [] | |

従業員の能力（エンプロイアビリティ）の向上

- 4) 【従業員教育・研修】 従業員の能力（エンプロイアビリティ）を高めるために、教育・研修プログラムの充実に取り組んでいますか。
- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な内容であると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
| [] | |
- 5) 【トップ・マネジメント層育成】 次代のトップ・マネジメント層を育成し、その資質を高めるための取り組みをしていますか。
- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な内容であると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
| [] | |

ファミリー・フレンドリーな職場環境の実現

- 6) 【家庭人としての責任配慮】 従業員の勤務時間や人事異動について、従業員の家庭の事情に配慮するような取り組み（制度や運用）をしていますか。
- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な内容であると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
- []
- 7) 【育児・介護支援】 従業員の育児・介護支援のため、法令の規定を上回る独自の取り組みをしていますか。
- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な内容であると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
- []

働きやすい職場環境の実現

- 8) 【従業員満足度】 従業員の満足度を調査し、従業員がその能力や意欲を十分発揮できるような環境づくりに役立っていますか。
- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：調査していない | 0 |
| 1：調査している | 1 |
| 2：調査しており、環境づくりに也十分役立っていると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
- []
- 9) 【多様な勤務時間・形態】 従業員の生産性向上等を図るために、多様な勤務時間・形態を可能とする制度（フレックスタイム等）を導入していますか。
- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：導入していない | 0 |
| 1：導入している | 1 |
| 2：導入しており、十分な成果をあげていると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
- []
- 10) 【安全・衛生】 従業員の安全・衛生・健康・メンタルヘルスなどに関し、法令の規定を上回る独自の取り組みをしていますか。
- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な内容であると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
- []

11)【人権配慮】 従業員の人権に配慮するような取り組み(差別禁止、セクハラ防止等)をしていますか。

- | | |
|----------------------------|---|
| N : 該当しない | N |
| 0 : 取り組んでいない | 0 |
| 1 : 取り組んでいる | 1 |
| 2 : 取り組んでおり、十分な内容であると考えている | 2 |

(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。)

[]

その他(自由)

その他、特筆すべき「仕組み」がありましたら、下欄にご記入下さい。

【仕組み】



3-b . 人間 (成果)

優れた人材の登用・活用

- 1) 【女性役員比率】 女性役員の比率の推移は、どのような傾向にありますか。
- | | | |
|---|----------------------------|----|
| [女性役員比率 : %] | | N |
| = 女性役員 (取締役、執行役) 数 ÷ 全役員 (同左) 数 × 100 | | -1 |
| (過去3年間の傾向) | N : 把握していない | 0 |
| | -1 : 減少傾向 0 : 横ばい 1 : 増加傾向 | 1 |
| (具体的数値 : 現状と目標) | | |
| 現在 _____ % | 3年後目標 _____ % | |
- 2) 【女性管理職比率】 女性管理職の比率の推移は、どのような傾向にありますか。
- | | | |
|--|----------------------------|----|
| [女性管理職比率 : %] | | N |
| = 女性管理職 (役員を含む課長職以上) 数 ÷ 全管理職 (同左) 数 × 100 | | -1 |
| (過去3年間の傾向) | N : 把握していない | 0 |
| | -1 : 減少傾向 0 : 横ばい 1 : 増加傾向 | 1 |
| (具体的数値 : 現状と目標) | | |
| 現在 _____ % | 3年後目標 _____ % | |
- 3) 【外国人管理職比率 (国内)】 国内事業所における外国人管理職の比率の推移は、どのような傾向にありますか。
- | | | |
|---|----------------------------|----|
| [外国人管理職比率 (国内) : %] | | N |
| = 外国人管理職 (役員を含む課長職以上) 数 ÷ 全管理職 (同左) × 100 | | -1 |
| (過去3年間の傾向) | N : 把握していない | 0 |
| | -1 : 減少傾向 0 : 横ばい 1 : 増加傾向 | 1 |
| (具体的数値 : 現状と目標) | | |
| 現在 _____ % | 3年後目標 _____ % | |
- 4) 【外国人役員比率 (海外)】 海外子会社における外国人役員の比率は、どのような傾向にありますか。
- | | | |
|--|----------------------------|----|
| [外国人役員比率 (海外) : %] | | N |
| = 海外子会社の外国人役員 (取締役・執行役) 数 ÷ 海外子会社の全役員 (同左) 数 × 100 | | -1 |
| (過去3年間の傾向) | N : 該当しない / 把握していない | 0 |
| | -1 : 減少傾向 0 : 横ばい 1 : 増加傾向 | 1 |
| (具体的数値 : 現状と目標) | | |
| 現在 _____ % | 3年後目標 _____ % | |
- 5) 【障害者雇用率】 障害者の雇用率の推移は、どのような傾向にありますか。
- | | | |
|-------------------|----------------------------|----|
| [障害者雇用率 : %] | | N |
| (過去3年間の傾向) | N : 把握していない | -1 |
| | -1 : 減少傾向 0 : 横ばい 1 : 増加傾向 | 0 |
| (具体的数値 : 現状と目標) | | 1 |
| 現在 _____ % | 3年後目標 _____ % | |

従業員の能力（エンプロイアビリティ）の向上

- 6) 【従業員教育・研修費用】 従業員一人あたりの教育・研修費用の推移は、どのような傾向にありますか。
- | | |
|--------------------------------|----|
| [従業員一人あたりの教育・研修費用（年間）：円] | N |
| （過去3年間の傾向） N：把握していない | -1 |
| -1：減少傾向 0：横ばい 1：増加傾向 | 0 |
| （具体的数値：現状と目標） | 1 |
| 直近期 _____ 円 3年後目標 _____ 円 | |

ファミリー・フレンドリーな職場環境の実現

- 7) 【年次有給休暇取得率】 従業員の年次有給休暇取得率の推移は、どのような傾向にありますか。
- | | |
|--------------------------------|----|
| [年次有給休暇取得率（一人あたり平均）：%] | N |
| （過去3年間の傾向） N：把握していない | -1 |
| -1：低下傾向 0：横ばい 1：増加傾向 | 0 |
| （具体的数値：現状と目標） | 1 |
| 直近期 _____ % 3年後目標 _____ % | |

- 8) 【月次残業時間】 従業員の月次残業時間の推移は、どのような傾向にありますか。
- | | |
|----------------------------------|----|
| [月次残業時間（一人あたり平均）：時間] | N |
| （過去3年間の傾向） N：把握していない | -1 |
| -1：増加傾向 0：横ばい 1：減少傾向 | 0 |
| （具体的数値：現状と目標） | 1 |
| 直近期 _____ 時間 3年後目標 _____ 時間 | |

- 9) 【育児休暇取得者数】 育児休暇の取得者数の推移は、どのような傾向にありますか。
- | | |
|-----------------------------------|----|
| [育児休暇取得者数（年間）：人] | N |
| （過去3年間の傾向：全体） N：把握していない | -1 |
| -1：減少傾向 0：横ばい 1：増加傾向 | 0 |
| （具体的数値：現状：男女別） | 1 |
| 直近期（男性） _____ 人 （女性） _____ 人 | |

- 10) 【介護休暇取得者数】 介護休暇の取得者数の推移は、どのような傾向にありますか。
- | | |
|----------------------|----|
| [介護休暇取得者数（年間）：人] | N |
| （過去3年間の傾向） N：把握していない | -1 |
| -1：減少傾向 0：横ばい 1：増加傾向 | 0 |
| （具体的数値：現状） | 1 |
| 直近期 _____ 人 | |

企業評価基準（評価シート）

働きやすい職場環境の実現

11)【従業員満足度】 従業員満足度の推移は、どのような傾向にありますか。

[貴社が用いる指標]

(過去3年間の傾向)

N : 把握していない

-1 : 低下傾向 0 : 横ばい 1 : 上昇傾向

N

-1

0

1

その他 (自由記述)

その他、特筆すべき「成果」や「目標」「理想像」がありましたら、下欄にご記入下さい。

【成果】

【目標や理想像】

4-a. 社会（仕組み）

社会貢献活動の推進

- 1) 【社会貢献活動に関わる基本方針】 社会貢献活動に関わる基本方針を定め、公表していますか。
- | | |
|------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：定めていない | 0 |
| 1：定めているが、公表していない | 1 |
| 2：定めており、公表している | 2 |
- （ 2の場合、特筆すべき内容があれば簡潔に記入して下さい。）
- []
- 2) 【特有の経営資源や得意分野の活用】 社会貢献活動の実践において、貴社特有の経営資源や得意分野を活かしていますか。
- | | |
|----------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：活かしていない | 0 |
| 1：活かしている | 1 |
| 2：活かしており、十分な成果をあげていると考えている | 2 |
- （ 2の場合、具体的取り組み例を簡潔に記入して下さい。）
- []
- 3) 【従業員のボランティア活動支援】 従業員がボランティア活動に参加することを支援する取り組みをしていますか。
- | | |
|-----------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な成果をあげていると考えている | 2 |
- （ 2の場合、具体的取り組み例を簡潔に記入して下さい。）
- []

ディスクロージャーとパートナーシップ

- 4) 【社会報告書】 企業の社会面での取り組み（本評価基準で言う「人間」「社会」に属する分野）に関する報告書を作成し、公表していますか。
- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：作成・公表していない | 0 |
| 1：作成・公表している | 1 |
| 2：作成・公表しており、社会とのコミュニケーションや取り組みの推進に役立っていると考えている | 2 |
- 5) 【NGO（NPO）との対話・協働】 国内外のNGO（NPO）と対話・協働を行っていますか。
- | | |
|------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：行っていない | 0 |
| 1：行っている | 1 |
| 2：行っており、十分なものであると考えている | 2 |
- （ 2の場合、具体的取り組み例を簡潔に記入して下さい。）
- []

政治・行政との適切な関係の確立

- 6) 【政治との関係】 政治との関係（政治家への働きかけ、政治献金等）に関する基本方針を定め、公表していますか。（企業行動規範等に含まれるものでも結構です。）
- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：定めていない | 0 |
| 1：定めているが、公表していない | 1 |
| 2：定めており、公表もしている
（2の場合、特筆すべき内容があれば簡潔に記入して下さい。） | 2 |
- []
- 7) 【公務員との関係】 公務員との関係（贈賄防止等）に関する基本方針を定め、従業員に徹底していますか。（企業行動規範等に含まれるものでも結構です。）
- | | |
|------------------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：定めていない | 0 |
| 1：定めている | 1 |
| 2：定めており、徹底も十分である（問題は発生していない）と考えている | 2 |

国際社会との協調

- 8) 【国際的な規範の尊重】 海外事業の展開にあたり、国連グローバル・コンパクトやILO宣言などに謳われている事項（児童労働や強制労働の禁止など）を尊重し、配慮していますか。
- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：配慮していない | 0 |
| 1：自社において尊重・配慮している | 1 |
| 2：自社だけでなく、サプライチェーンにおいても尊重・配慮している
（2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。） | 2 |
- []
- 9) 【現地の法令・文化・慣習等の尊重】 海外事業の展開にあたり、現地の法令を遵守し、文化や慣習を尊重するための基本方針を定め、従業員に徹底していますか。
（企業行動規範等に含まれるものでも結構です。）
- | | |
|------------------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：定めていない | 0 |
| 1：定めている | 1 |
| 2：定めており、徹底も十分である（問題は発生していない）と考えている | 2 |
- 10) 【世界的諸課題の解決への貢献】 海外にも視野を広げ、企業の立場から世界的諸課題の解決（海外の難民や被災者への緊急支援、発展途上国への支援等）に取り組んでいますか。
- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、その内容も十分であると考えている
（2の場合、具体的取り組み例を簡潔に記入して下さい。） | 2 |
- []

その他（自由）

その他、特筆すべき「仕組み」がありましたら、下欄にご記入下さい。

【仕組み】



4-b : 社会 (成果)

社会貢献活動の推進

1) 【社会貢献活動支出額】 社会貢献活動に関わる支出額の推移は、どのような傾向にありますか。

[社会貢献活動支出額 (年間) : 円] N
 (過去3年間の傾向) N : 該当しない / 把握していない -1
 -1 : 減少傾向 0 : 横ばい 1 : 増加傾向 0
 (具体的数値 : 現状と目標) 1

直近期 _____ 円 3年後目標 _____ 円

2) 【学生インターン受入数】 学生のインターンシップ制度を導入している場合、受入人数の推移は、どのような傾向にありますか。

[学生インターン受入人数 (年間) : 人] N
 (過去3年間の傾向) N : 受け入れていない -1
 -1 : 減少傾向 0 : 横ばい 1 : 増加傾向 0
 (具体的数値 : 現状と目標) 1

直近期 _____ 人 3年後目標 _____ 人

3) 【ボランティア休暇・休業制度利用者数】 従業員のボランティア休暇・休業制度を導入している場合、その利用者数の推移はどのような傾向にありますか。

[ボランティア休暇・休業制度利用者数 (年間) : 人] N
 (過去3年間の傾向) N : 導入していない -1
 -1 : 減少傾向 0 : 横ばい 1 : 増加傾向 0
 (具体的数値 : 現状と目標) 1

直近期 _____ 人 3年後目標 _____ 人

4) 【NGO (NPO) との協働件数】 NGO (NPO) との協働 (単なる寄付を除く) の案件数の推移は、どのような傾向にありますか。

[NGO (NPO) との協働案件数 (年間) : 件] N
 (過去3年間の傾向) N : 該当しない / 把握していない -1
 -1 : 減少傾向 0 : 横ばい 1 : 増加傾向 0
 (具体的数値 : 現状と目標) 1

直近期 _____ 件 3年後目標 _____ 件

信頼の構築

5) 【国内政治家・公務員関連法令違反件数】 過去3年間、国内の政治家や公務員との関係において、法令を違反しましたか。

[過去3年間の違反件数 : 件] N
 (過去3年間の件数) N : 把握していない -1
 -1 : あった 0 : ない 0
 (具体的数値 : 現状)

過去3年間 _____ 件

6) 【海外政治家・公務員関連法令違反件数】 過去3年間、海外の政治家や公務員との関係において、法令を違反しましたか。

[過去3年間の違反件数：件]

N

(過去3年間の件数)

N：該当しない/把握していない

-1

-1：あった 0：ない

0

(具体的数値：現状)

過去3年間 _____ 件

その他(自由記述)

その他、特筆すべき「成果」や「目標」「理想像」がありましたら、下欄にご記入下さい。

【成果】

【目標や理想像】



II : コーポレート・ガバナンス (CG)

1 : 理念とリーダーシップ

経営理念の明確化と浸透

- 1) 【経営理念の明確化と浸透】 経営理念を明文化し、社内に浸透させる努力をしていますか。
- | | |
|---|---|
| N : 該当しない | N |
| 0 : 明文化していない | 0 |
| 1 : 明文化している | 1 |
| 2 : 明文化しており、浸透努力も十分であると考えている
(2の場合、具体的方法を簡潔に記入して下さい。) | 2 |
- []

- 2) 【ステークホルダーの明確化】 経営理念の中で、貴社にとってのステークホルダーを明確に特定していますか。
- | | |
|-------------------------------|---|
| N : 該当しない | N |
| 0 : 特定していない | 0 |
| 1 : 特定している | 1 |
| 2 : 特定しており、実際の経営においても十分考慮している | 2 |

- 3) 【経営理念の浸透度合】 経営理念で掲げた価値観は社内に浸透していますか。
- | | |
|--|---|
| N : 該当しない | N |
| 0 : 浸透度合を把握していない | 0 |
| 1 : 浸透度合を把握しているが、価値観の共有は十分でないと考えている | 1 |
| 2 : 浸透度合を把握しており、価値観の共有も十分であると考えている
(2の場合、具体的にどのように把握したかを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
- []

リーダーシップの発揮

- 4) 【社長の直接関与】 社長は、経営理念や企業行動規範の策定、周知徹底のプロセスに直接関与していますか(結果の報告を受けるだけでなく、自らそのプロセスに参加している)。
- | | |
|--|---|
| N : 該当しない | N |
| 0 : 関与していない | 0 |
| 1 : 関与している | 1 |
| 2 : 関与しており、十分成果をあげていると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
- []

- 5) 【従業員へのコミュニケーション】 社長は、従業員に対して自らの信念を直接示すための取り組みをしていますか。
- | | |
|--|---|
| N : 該当しない | N |
| 0 : 取り組んでいない | 0 |
| 1 : 取り組んでいる | 1 |
| 2 : 取り組んでおり、信念が十分伝わっていると考えている
(2の場合、具体的方法を簡潔に記入して下さい。) | 2 |
- []

6) 【従業員からのコミュニケーション】 社長は、現場の声や実情を直接聴くための取り組みをしていますか。

- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、現場の声や実情を十分把握していると考えている
(2の場合、具体的方法を簡潔に記入して下さい。) | 2 |

[]

その他(自由記述)

その他、特筆すべき「取り組み」や「目標」「理想像」がありましたら、下欄にご記入下さい。

【取り組み】

【目標や理想像】

2. マネジメント体制

取締役会 / 監査役（会）の実効性

1) 【実質的な議論】 取締役会において、案件の説明・承認以外の実質的な議論を増やすための努力をしていますか。

- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：していない | 0 |
| 1：している | 1 |
| 2：しており、十分な成果をあげていると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
- []

2) 【社外の視点の導入】 より適切な経営判断に資するため、社外の視点を導入する取り組み（社外取締役の導入、経営諮問委員会の設置等）をしていますか。

- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な成果をあげていると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
- []

3) 【監査役（会） / 監査委員会の意見】 監査役（会）または監査委員会の意見が尊重されるような取り組みをしていますか。

- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な成果をあげていると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
- []

4) 【監査役をサポート】 監査役に現場の状況が直接伝わるようなサポート（専属スタッフの配置等）をしていますか。

- | | |
|---|---|
| N：該当しない | N |
| 0：していない | 0 |
| 1：している | 1 |
| 2：しており、十分な成果をあげていると考えている
(2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |
- []

社長の選任・評価

- 5) 【社長の選任】 現社長（および社長経験者）以外が、次期社長候補者の選考に関する仕組みはありますか。
- | | |
|---------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：ない | 0 |
| 1：ある | 1 |
| 2：あり、十分機能していると考えている | 2 |
- （ 2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。）
- []
- 6) 【社長の評価・解任】 社長経験者以外に、現社長の業績を評価し、場合によっては解任できる仕組みはありますか。
- | | |
|---------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：ない | 0 |
| 1：ある | 1 |
| 2：あり、十分機能していると考えている | 2 |
- （ 2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。）
- []
- 7) 【社長の報酬額決定】 社長の報酬額を決定するにあたり、本人および社長経験者以外の意見を反映させる仕組みはありますか。
- | | |
|---------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：ない | 0 |
| 1：ある | 1 |
| 2：あり、十分機能していると考えている | 2 |
- （ 2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。）
- []

CSRに関するマネジメント体制の確立

- 8) 【CSR担当部署】 「企業の社会的責任（CSR）」に関わる担当部署（ないし担当者）を設置し、その責任者に役員以上を任命していますか。
- | | |
|------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：設置していない | 0 |
| 1：設置しているが、責任者は役員以上ではない | 1 |
| 2：設置しており、責任者は役員以上である | 2 |
- 9) 【年金運用に関するSRI基準】 年金基金の運用において、「社会的責任投資（SRI）」を考慮していますか。
- | | |
|-----------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：考慮していない | 0 |
| 1：考慮している | 1 |

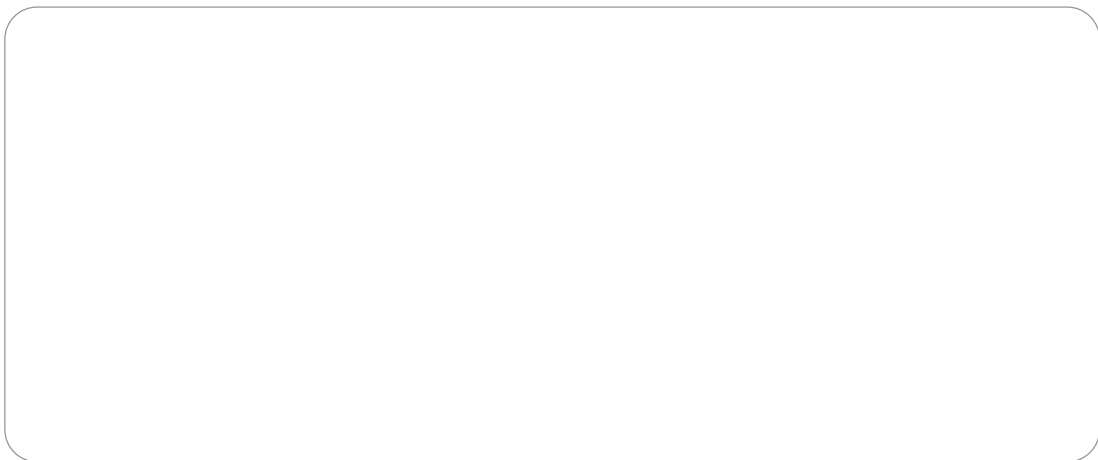
その他（自由記述）

その他、特筆すべき「取り組み」や「目標」「理想像」がありましたら、下欄にご記入下さい。

【取り組み】



【目標や理想像】



3. コンプライアンス

企業行動規範の策定と周知徹底

1) 【企業行動規範の策定・公表】 企業行動規範（ないし倫理綱領等）を策定し、公表していますか。

- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：策定していない | 0 |
| 1：策定しているが、公表していない | 1 |
| 2：策定しており、公表もしている
（ 2の場合、特筆すべき内容があれば簡潔に記入して下さい。） | 2 |
| [|] |

2) 【行動規範の周知徹底】 企業行動規範の周知徹底を図るための取り組みをしていますか。

- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：取り組んでいない | 0 |
| 1：取り組んでいる | 1 |
| 2：取り組んでおり、十分な成果をあげていると考えている
（ 2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。） | 2 |
| [|] |

3) 【グループ各社への適用・奨励】 企業行動規範をグループ各社にも適用していますか。あるいは独自の行動規範の策定を奨励していますか。

- | | |
|--------------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：適用していない（奨励していない） | 0 |
| 1：適用している（奨励している） | 1 |
| 2：適用しており（奨励しており）十分浸透していると考えている | 2 |

コンプライアンス体制の確立

4) 【専任部署】 コンプライアンス（法令・倫理等遵守）に関する専任部署を設置し、その責任者として役員以上を任命していますか。

- | | |
|------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：設置していない | 0 |
| 1：設置しているが、責任者は役員以上ではない | 1 |
| 2：設置しており、責任者は役員以上である | 2 |

5) 【相談窓口】 コンプライアンスに関し、問題を事前に防ぐため、従業員の相談窓口を設置していますか。

- | | |
|--|---|
| N：該当しない | N |
| 0：設置していない | 0 |
| 1：設置している | 1 |
| 2：設置しており、十分機能が果たせるような仕組みであると考えている。
（ 2の場合、具体的仕組みを簡潔に記入して下さい。） | 2 |
| [|] |

6) 【内部通報窓口】 コンプライアンスに関し、問題を早期に発見するため、内部通報窓口を設置していますか。

- | | |
|--|---|
| N : 該当しない | N |
| 0 : 設置していない | 0 |
| 1 : 設置している | 1 |
| 2 : 設置しており、機能が十分果たせる仕組みだと考えている
(2の場合、具体的仕組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |

[]

7) 【遵守状況のチェック】 コンプライアンスの遵守状況について、定期的にチェックし、取締役会や監査役(会)に報告する仕組みはありますか。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| N : 該当しない | N |
| 0 : ない | 0 |
| 1 : チェックしているが、取締役会や監査役(会)には報告されていない | 1 |
| 2 : チェックしており、取締役会や監査役(会)にも報告されている | 2 |

8) 【業績評価での考慮】 社内の各部門の業績を評価するにあたり、それがコンプライアンスの観点から妥当なものであることを判断する仕組みはありますか。

- | | |
|--|---|
| N : 該当しない | N |
| 0 : ない | 0 |
| 1 : ある | 1 |
| 2 : あり、有効に機能していると考えている
(2の場合、具体的仕組みを簡潔に記入して下さい。) | 2 |

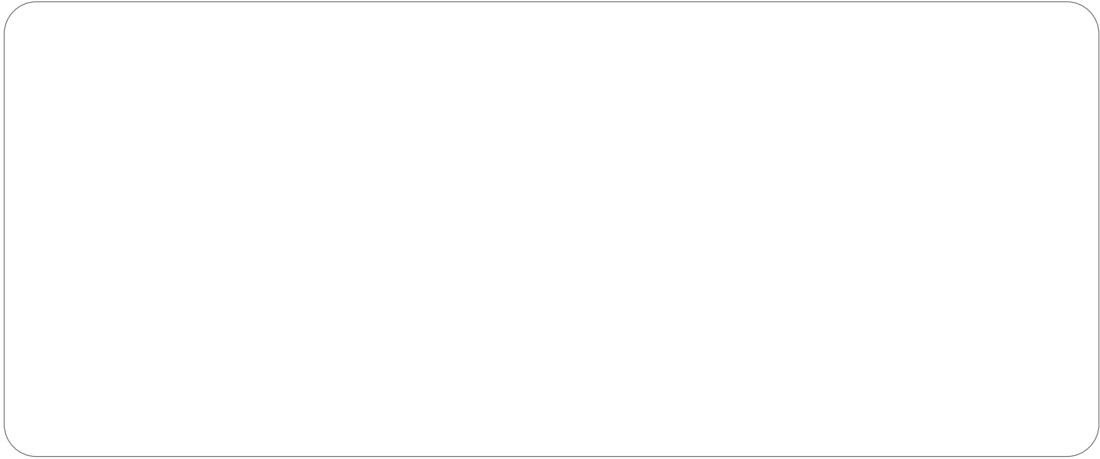
[]

その他(自由記述)

その他、特筆すべき「取り組み」や「目標」「理想像」がありましたら、下欄にご記入下さい。

【取り組み】

【目標や理想像】



4. ディスクロージャーとコミュニケーション

ディスクロージャーとコミュニケーションを推進するマネジメント体制の確立

- 1) 【基本方針】 ディスクロージャーに関わる基本方針を定め、公表していますか。
- | | |
|------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：定めていない | 0 |
| 1：定めているが、公表していない | 1 |
| 2：定めており、公表もしている | 2 |
- (2の場合、特筆すべき内容があれば簡潔に記入して下さい。)
- []
- 2) 【開示範囲・内容】 ディスクロージャーの開示範囲や内容について、株主（投資家）に限らず、多様なステークホルダーの意見を聴く仕組みはありますか。
- | | |
|---------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：ない | 0 |
| 1：ある | 1 |
| 2：あり、その意見は十分反映されていると考えている | 2 |
- (2の場合、具体的仕組みを簡潔に記入して下さい。)
- []
- 3) 【フィードバック】 多様なステークホルダーから寄せられた意見について、社長や取締役会に報告する仕組みはありますか。
- | | |
|------------------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：ない | 0 |
| 1：ある | 1 |
| 2：あり、その意見は経営の改善にフィードバックされていると考えている | 2 |
- (2の場合、具体的仕組みを簡潔に記入して下さい。)
- []
- 4) 【ステークホルダーとの対話】 社長が、多様なステークホルダーと直接対話する仕組みはありますか。
- | | |
|------------------------|---|
| N：該当しない | N |
| 0：ない | 0 |
| 1：ある | 1 |
| 2：あり、十分な成果をあげていると考えている | 2 |
- (2の場合、具体的取り組みを簡潔に記入して下さい。)
- []

その他（自由記述）

その他、特筆すべき「取り組み」や「目標」「理想像」がありましたら、下欄にご記入下さい。

【取り組み】

【目標や理想像】

設問は以上です